



上神明だより

【1月号】

令和3年1月6日

品川区立上神明小学校

校長 松崎 行雄

発達凸凹

校長 松崎 行雄

恥ずかしながら告白します。私には、今でも克服できない苦手があります。電話をしながらだと、まともにメモがとれないのです。電話中にメモをすると、字形が崩れて、書き損じだらけになります。また、講演会などで聞きながらメモをとると、逆に話の所々を聞き逃すのです。だから、電話を切ってからメモしていますし、講演会では、最低限の事しかメモしません。

長い間、子どもたちの教育に携わり、今ではこの苦手が自分なりに解明できています。きっと、発達検査でいうところの短期記憶力（ワーキングメモリー）が劣っているのです。もしくは、話す、聞く、読む、書くなどの言語活動を、同時進行で行うことが苦手なのです。いわゆる「学習障害」なのかもしれません。

そんな困った私ですが、小学校時代に特異な能力がありました。それは、見たものを正確に絵で再現できることです。前の晩にテレビで見た歌謡番組の一場面などを絵で再現できたのです。歌手の表情、衣装の模様、髪形など細部に至るまで再現できたのです。学校のきれいなテスト用紙の裏面にお絵描きすることが大好きでした。表面のテストを終えると、真っさらな裏面に、目に焼き付いた場面を一心不乱に描き込んでいました。よく野口五郎やフォーリーブスなどを描いていました。その絵を見て大抵の人は、「えっ」と絶句していました。きっと、リアルすぎる描写画にドン引いていたのでしょうか！？母からは「絵を描いている暇があったら、もっと見直さない」とよく叱られていました。絵で再現する力は、中学生の頃にはなくなっていました。

2つ以上の言語活動が同時にできないことは、「障害」かも知れません。しかし、見たものを絵で正確に再現できることは、「才能」かも知れません。一人の人間の中には、多かれ少なかれ「障害」や「才能」とも言われる発達凸凹が必ずあるものではないでしょうか。

学校で、毎日多くの子ども達を見ていて、発達凸凹をよく見受けます。また、教職員の人材育成に際しても、同じことを感じます。本来、人は「正常」「異常」で単純には分類できないと思います。発達凸凹は、誰にでもある「個性」であり「特性」です。大事なことは、その「個性」を伸ばしてあげたり、「特性」を適切に支援してあげたりすることです。

ところで、今、来年度に入学する数名の保護者の方々と面談をしています。いわゆる通常学級と特別支援学級の選択、もしくは特別支援教室のことが話題の中心です。多くの保護者の皆様が、真剣に悩んでいます。校長として誠意をもって助言しております。しかし、そのように就学に際し悩むことは、子どもへの愛情の証であり、素晴らしい保護者の姿勢であると思います。

また、現在、在学しているどの学年のどの子どもについても同じだと思います。学校とご家庭が連携して、子どもの学習や生活の状況から課題を見出したり、その子の発達特性を見つめ続けたりすることを忘れてはいけません。発達凸凹は、誰にでもあるのですから。

1月・2月の行事予定

1月		
1	金	元日
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	冬季休業日終
6	水	始業式 午前授業
7	木	給食始
8	金	書き初め大会 委員会
9	土	
10	日	
11	月	成人の日
12	火	全校朝会(放送) 発育測定(4・5・6) きまり・マナー週間始(～1/16) 読書強化月間(～2/5)
13	水	発育測定(1・2・3・ほ) わくわくタイム
14	木	安全指導日 お話会
15	金	避難訓練
16	土	土曜授業 集団下校
17	日	
18	月	全校朝会(放送) 食育授業(1・5・6) しながわドリームジョブ①(6)
19	火	そろばん教室(3)
20	水	わくわくタイム 食育授業(ほ・3)
21	木	書き初め展始 読み聞かせ 食育授業(4)
22	金	クラブ 食育授業(2)
23	土	
24	日	
25	月	全校朝会(放送) しながわドリームジョブ②(6)
26	火	漢字検定
27	水	わくわくタイム
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

* () 内の数字は学年を表す

2月		
1	月	全校朝会(放送)
2	火	
3	水	安全指導日
4	木	読み聞かせ 避難訓練
5	金	学校公開① 委員会
6	土	土曜授業 学校公開② 市民科授業地区公開講座
7	日	
8	月	全校朝会(放送)
9	火	
10	水	わくわくタイム
11	木	建国記念の日
12	金	クラブ クラブ見学(3)
13	土	
14	日	
15	月	全校朝会(放送) 家庭学習週間(～2/21日)
16	火	午前授業
17	水	わくわくタイム
18	木	お話会
19	金	
20	土	土曜授業
21	日	
22	月	全校朝会(放送)
23	火	天皇誕生日
24	水	品川教育の日(6) 5時間授業 6年以外午前授業
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	

【開校80周年記念式典】

12月5日(土)、本校体育館において開校80周年記念式典が無事執り行われました。今回の式典は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、座席の間隔を空け、換気にも十分配慮し、出席児童は4年生以上、来賓のご招待も最小限とさせていただきました。

さらに、式次第も30分で終わる内容とするなど、かなり簡略化しての挙行となりましたが、そのような状況下でも式典自体の雰囲気は大変厳粛で素晴らしいものでした。

出席した4、5、6年生は1回目のリハーサル前から学級での指導がきちんと行き届いており、着座の姿勢や礼法などもほとんど指摘がいないほどの仕上がり具合でした。

来賓の皆様からも、素晴らしい式であったとお褒めの言葉があり、特に中島豊教育長からは「規律正しい中にもしなやかさがある。」という素敵な感想をいただきました。

(開校80周年記念式典担当 竹谷 泰雄)

【学習成果発表会】

本校の学習成果発表会は、体育館でのステージ発表を行う予定でしたが、今年度は感染予防のために、残念ながら体育館での実施を断念せざるを得ませんでした。しかし、子どもたちの豊かな学習活動の様子を、何としても保護者の方にお届けしたいと、会議を重ねリモートという方法で実施することとなりました。各学級で一番苦勞したことは、10分間の動画にまとめることでした。担任は、「ここの動画も使いたい!この活動もいいよね!」という具合に子どもたちの学習活動の様子をたくさんお届けしたいと思うと、どんどん動画が長くなってしまいます。そこで、教職員間で何度も動画を確認しながら、字幕を入れるなど編集方法の情報交換を行い、動画を完成させることができました。保護者の方々には、たくさんの心温まるアンケートをいただき、本当にありがとうございました。ご協力に感謝いたします。

(学習成果発表会担当 萱野 大数)

【学習成果発表会 保護者アンケートより】

- 連絡帳や面談でやり取りしたことが、映像で見ること、より鮮明になりました。真面目に勉強に励んでいる姿、残さず給食を食べている姿に胸が熱くなりました。【ほほえみ】
- 家での姿とは違う、緊張しながら責任をもって発表している様子に感動しました。【1年】
- 一人一人の表情がよく見え、声もよく聞き取れて、舞台とはまた違った贅沢な発表会でした。中止とするのではなく、いつでも新しい方法を考えて実施していただき感謝申し上げます。【2年】
- 舞台上の子どもたちの表情は硬いものになりますが、普段の生き生きとした表情を見ることができました。家族全員で見ることができて、今年ならではの思い出ができました。【3年】
- 子どもたち本人が客観的に自分の学習成果発表を感じ取れる方法が、コロナ禍の中で発見できたことに意味があると思います。先生方の努力の結果だと考えております。【4年】
- 繰り返し観ることができるのがよかったです。そして、子どもたちを撮影している先生の姿が不思議と浮かび、先生と子どもたちが一緒になって頑張っていることが伝わります。【5年】
- 他学年の発表も見られました。コロナ禍の中、低学年児童の成長にも感動しました。【6年】

=====
<校長より>お子様がお家族と楽しく動画をご覧いただけたようですね。「動画だからこそ伝えること」の他に「動画だからこそその見方」もあることに気付かされました。ご協力に感謝いたします。

【ふたば教室ってどんなところ？】

『人はそれぞれ、感じ方や考え方・得意や不得意・好き嫌いが違う。』そんな視点から、児童が自分のことを知って自己理解を深めていけるのがふたば教室です。『自分をよく知るから、自分の生かし方や助け方が分かる』というのがふたば教室の考えです。ふたば教室では、その児童に合った方法で学習をしたり、その方法を児童自身が習得していったりすることを大切にしています。

決められた教科書がないので、学級とは違う学習活動がたくさんあります。見る修行、聞く修行、体幹トレーニング、コミュニケーションの学習、協力ゲーム、心のしくみの学習、自己理解のワーク、苦手を得意に変えるような秘密の特訓など……。担当教員と1対1で学習をしたり、他の学年の仲間と小集団で協力して課題解決活動をしたりしています。

自分のことをよく知っている先生に、何でも相談に乗ってもらえることもふたば教室の特権です。学校のルールをただ教えるのではなく、「どんな考えで」「どのような行動を」していけばいいのか、具体的なアドバイスがもらえます。また、自分に合った環境やペースで学習できることも魅力のひとつです。

『自分を大切にしながら、学校や社会の一員として上手に関わり合い生きていく』そんな土台作りを支援していきます。
(ふたば教室訪問指導教員 北村 芳恵)

【スクールカウンセラーより】

スクールカウンセラーは保護者の皆様との面談を随時受け付けています

「最近朝すっきり起きてこない」「登校前にお腹が痛いと言う」「イライラしがちで怒りっぽくなった」「嘘をつくことが多くなった」など、お子さんの様子の変化で気になること。また「落ち着きが無いとよく言われる」「人の話を聞いていない」「読み書きや計算が困難」など学習に関することなど。お子さんの様子で気になることがございましたらお気軽にご相談ください。

スクールカウンセラーは心理相談の立場から、保護者の皆様や教職員と協力して子どもたちの学校生活を応援するために配置されています。毎週金曜日の8時半から17時まで勤務しています。面談を希望される場合は、カウンセラーの勤務日に直接お電話いただくか、担任の先生にご連絡をいただくか、学校（副校長、養護教諭）にご連絡いただき「カウンセラーと面談希望」とお伝えください。

(スクールカウンセラー 大城 恵子)

